



<消化器内科外来の紹介

外来 山本



①番〔消化器内科内視鏡検査室〕



②番〔検査等処置室〕〔大腸検査前処置室〕

消化器内科外来は、消化器内科と脳神経内科の2つの診療科で診察・検査を行っています。検査室は2部屋あり、1部屋は内視鏡検査室として使用しています。今回検査室2番をリニューアルしましたので紹介します。部屋を有効活用できるようカーテンで仕切り、検査等処置室には長時間座位が保てない患者さんやルンバール・尿素呼気検査等の処置に使えるようにベッドを置きました。もう一つは出来るだけ密集・密接を避けるため、大腸検査前処置（ニフレックを飲むため）の部屋として活用するようにしました。大腸検査前処置室は、薬剤師さんとの検薬にも活用できています。

4階東病棟 急変時シミュレーションについて

4階東病棟 福山

4階東病棟では、急変時シミュレーションを「気管内挿管」「BLS」「実際に病棟であった事例を用いたシミュレーション」に大きく分けて年間計画を立てています。6月はクリニカルラダーⅠ～Ⅱのスタッフを対象に、気管内挿管介助についてテストを実施しました。救急カートから物品を準備し、医師へ介助するまでの一連の流れを行いました。また、人工呼吸器を使用できる病室を評価者と共に確認していきました。終了後は評価者にどのような状況であったのか記載してもらい、振り返りや他の評価者が情報を共有できるようにファイルを作成してまとめています。7月は急変時シミュレーションとは別に勉強会を実施しました。次回はBLSを実施する予定で計画を立てています。





<鹿児島県看護協会主催>

令和4年度

認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修を受講するにあたって

HCU主任 吉永

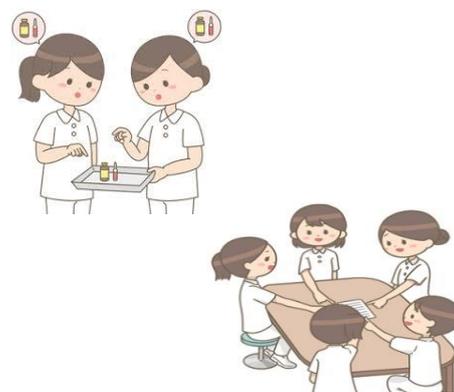
主任になり約2年、“管理者とは”という言葉に日々悩んでいる際に、2022年8月17日～2022年10月6日までの20日間、鹿児島県看護協会主催の看護管理者教育糧ファーストレベルに参加する機会を頂きました。いざ研修目前となり、資料に目を通すだけでかなり不安になっていますが、ヘルスケアシステム論、組織管理論、人材管理、資源管理、質管理、統合演習など、看護管理者としてどのような知識や技術、態度で挑み、また何が必要なのかをこの研修で習得したいと思います。研修後には、より質の高い看護を提供するために、現状問題が解消され実践し、スタッフに還元できるよう取り組んでいきたいと思っています。

医療安全研修【Zoom研修】

ダブルチェック再考～有効なダブルチェックを行うために～を受講して

回復期リハビリテーション病棟 鍛冶屋

与薬に関する事故は、医療事故のなかでも頻度が高く、改善策にはダブルチェックが挙げられています。ダブルチェックの考え方の基本は、エラーそのものを減らすことではなく、エラーの「発見」を目的とするものであることを学びました。グループワークを行い、各病院・施設のチェックシステムの現状やダブルチェックをどの段階で実施するのか、ダブルチェックの方法やシングルチェックの方法など意見交換を行いました。現場ではダブルチェックをして安心していましたが、ダブルチェックのメリット・デメリットを考え、ハイリスクの行為に絞って実施し、今回学んだ事を実践していきたいと思っています。



【Zoom研修】フィジカルアセスメント（応用編）を受講して

手術室 小浦



今回、Zoomでの研修を受けました。講義内容は急変に対応できる看護師教育というよりは、急変を起こさせない患者の観察能力向上を目的とした研修内容でした。後半の講義では、急変事例5例を基に情報収集内容の検討や原因疾患の考察など、チャットでの質疑応答も行われ、分かりやすい講義でした。

Zoom研修は初めての体験でしたが、看護協会までの移動や他施設の人との関わりによるストレスを考えると、断然Zoom研修が自分には合っていると思える研修でした。



『22「重症度・医療・看護必要度」 評価者及び院内指導者研修』を受講して

4階西病棟副師長 松下

オンラインセミナーにて、研修へ参加させて頂きました。

2022年度、診療報酬改定では、「一般病棟用の重症度、医療・看護必要度（Ⅰ、Ⅱ）」においては、「心電図モニターの管理」が削除され、「輸血や血液製剤の管理」の点数が1点から2点へ変更になり、「点滴ライン同時3本以上の管理」は「注射薬剤3種類以上の管理」となり、定義も大きく変わりました。

看護記録を元にB項目の評価の根拠を求める工夫や、患者の状況を正しく反映し、適正な看護管理ができるようマネジメント力を身につけ、実践していこうと思います。まずは、変更点を含む内容を伝達し、正しい知識と評価が出来るよう、スタッフへ還元していきたいと思っています。

※今年度も、全員を対象として看護必要度研修を予定しています。

第2回「日本医療マネジメント学会学術総会」に参加して

外来師長 小牧

2022年7月8日～7月9日に神戸国際会議場で行われ、コロナ禍3年ぶりの現地参加をしました。これからの看護師に求められる力は、①予測できる力、②判断する力、③采配する力、④チーム力であり、教育は社会のニーズに対応する先を見た教育が重要であるとのこと。アフターコロナ禍の人材育成は、変化を受け入れ、やりとげていく力が必要であり、課題に対し多方面から考え、複数の答えを出せる人、自ら考える看護師でなければならない。そのための育成は、対話～対話は欠かせないそうです。教えるのではなく、聴く文化を育てなくてはならないとのこと。一人ひとりを戦力化する人材戦略（全員戦力化）のためには、もっと、もっとみんなと話そう、話を聞こうと思った学会でした。

図書紹介



看護部にて貸出しております。
みさなん、ぜひ活用してください。





ミニナラティブ

4階西病棟 西野

私が受け持った80歳代男性患者、既往歴は脳梗塞で入院され精査にて直腸癌もみつきり、手術の適応がある方でした。認知症もありJCS I-2程度で手術については、県外の家族に意見を仰ぐ形になりました。家族としては手術を受けて欲しいと思いがあり、電話で数回本人と手術について話し合いをしましたが、「手術の話をするとはぐらかされて同意が得られない」とありました。ある日、患者の部屋に訪室すると「もういい、余計な事はしなくていい、もうどうなってもいい」と訴えがあり、どうしたのか聞くと、「俺にはこれ以上何もしなくていい」と繰り返すばかりでした。正直、認知症もあり手術については理解不足で同意が得られないと思っていました。そういった姿勢を患者が感じ取り悲嘆感を与えてしまったのだと感じました。今後は、私の価値観で決めつけず患者の目線に合わせ、何故そう思うのかと考える事ができる様にしていきたいと思います。



マイブーム

3階東病棟 渡

今というか以前からはまっているのがコストコ（コストコホールセール）です。

最近よくテレビでも取り上げられている外資系スーパーマーケット。みなさんもよくご存知だと思います。昨年4月に待ちに待った熊本三船倉庫店がオープンしましたが新型コロナの影響でなかなか行けず、初めて行ったのは同年11月頃でした。他県にも行けなかったので1年半ぶりのコストコでとてもテンションが上がりました。それまでは妹が住む大阪に行った時会員の付き添いの一人として入店していました。欲しい物があっても、傷みやすい食品は避けるなど制限のある買い物をしていました。熊本店で初めて会員となり、欲しかった生鮮食品を買って家に持って帰った時は充実・達成・満足した思いを今でも覚えています。



編集後記

コロナによる影響で、人員不足も加わり疲弊していると思います。だからこそ、スタッフみんなで協力して乗り越えていきましょう!!

松下

